

(二六一〇)

西 慶長十五年二月 群馬郡滝村の江原源左衛門あて給所宛

行状〔C〕

たき村之御手作之きゆう(給)所之地ニ候間、「江原源左衛門尉じょう殿渡申候、合三町三反歩なり、」右渡申候所実正也、以来ニ何与(答)こたい(違乱)候共もいらん有間敷候、片山吉左衛門殿へ御百ついでう姓を都合申候、是ハ 備前様御手(伝カ)□也、為ニ後日「一札如レ此、仍如レ件

和田

慶長拾五年

与六郎(花押)

戊戌月十五日

江原源左衛門殿